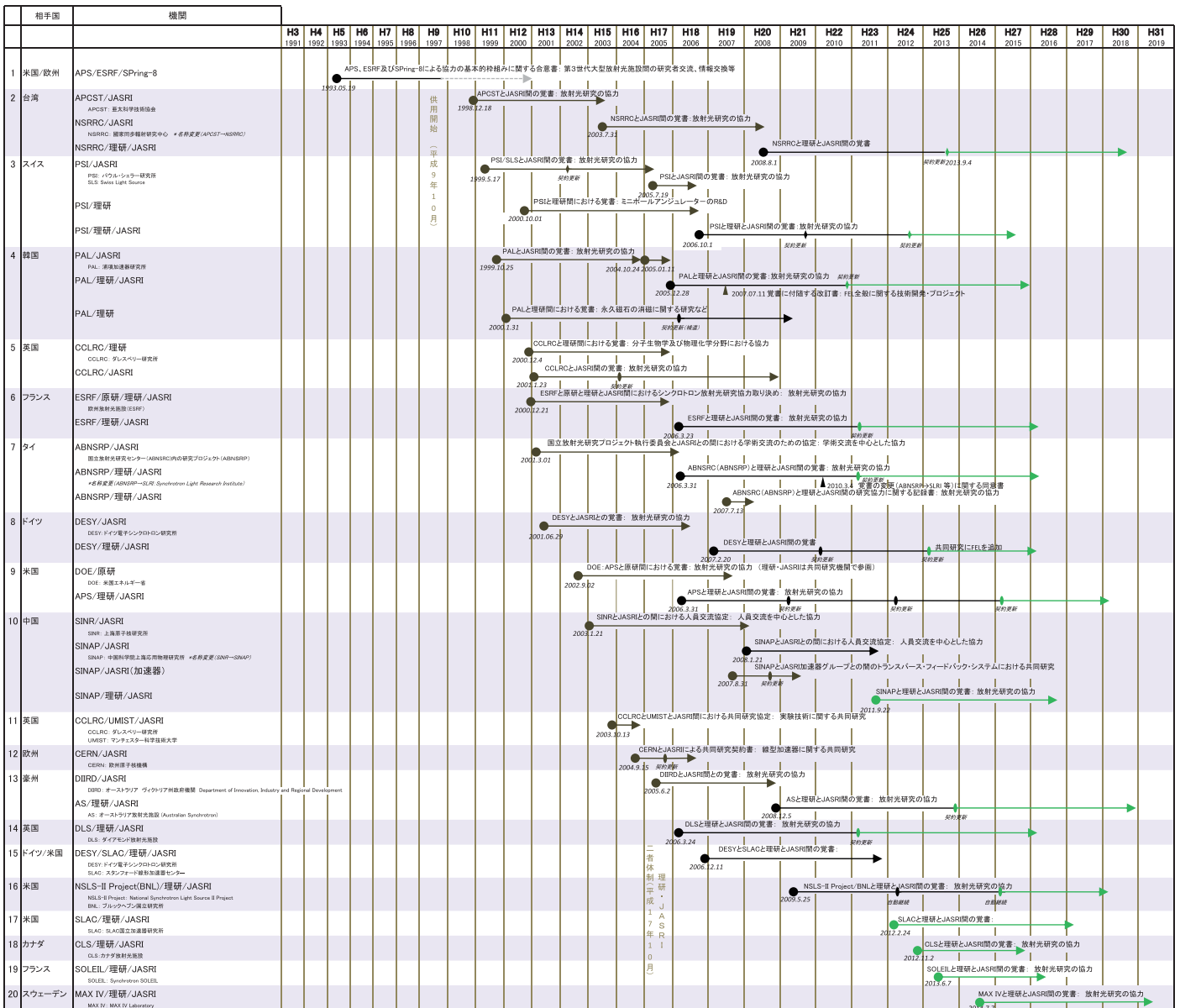


6. 国際協力

2014年度は、MAX IV 研究所 (MAX IV Laboratory、スウェーデン) と新たに覚書を締結した。2014年度末時点、海外の12カ国・15機関との間に覚書を締結し、放射光研究の協力、研究所間の情報交換、研究者の交流等を実施している。

12カ国：
 (アジア・オセアニア) 台湾、韓国、タイ、中国、オーストラリア 計5カ国
 (欧米) スイス、英国、ドイツ、フランス、スウェーデン、米国、カナダ 計7カ国
 協定等を締結した放射光施設、また研究協力の関係にある放射光施設等との2014年度における具体的な協力は以下のとおり。

表1 SPring-8 (JASRI) における国際協力協定



* 覚書の詳細が明記されていない場合、通常では「放射光の協力」とは「情報交換、人員交流など」になる。
 * 2009年10月からの理研/JASRIによる二書体割に伴い、各放射光施設と覚書と新たに締結。

1. APS/米国アルゴンヌ国立研究所 (APS/ANL、米国)・欧州放射光施設 (ESRF、フランス)・ドイツ電子シンクロトロン研究所 (DESY、ドイツ)

第15回を迎えた大型放射光施設による ESRF - APS - SPring-8 三極ワークショップが2015年2月26日(木)から28日(土)、SPring-8に於いて、第12回以降参加している DESY の大型放射光施設、PETRA III を含めた4施設の研究者が集まり開催された。

ワークショップの冒頭では、各施設の現状報告とともに、各施設が進める高度化計画、将来計画が報告された。また、Automation Beyond Protein Crystallography、Future Detector Strategy、Data Policy をテーマに3つのセッションが設けられ、各施設の取り組みが報告されるとともに、議論が行われた。総括討論では、三極ワークショップの役割の再定義等の議論がなされ、その意義が確認され、今後もワークショップを継続し開催していくことが確認された。また、第7回以降、毎回サテライトワークショップとして行われている“Three-way X-ray Optics Workshop”が26日(木)に開催された。

今回は、2016年秋、DESYで開催される予定である。

2. パウル・シェラー研究所 (PSI、スイス)

BL14B2に新設中の多目的ハイスループット回折計用の検出器としてMYTHEN検出器12台をパウル・シェラー研究所 (PSI) との研究開発に関する覚書に基づき共同開発した。2015A期にビームラインに設置し、2015B期より運用開始を予定している。

3. MAX IV 研究所 (MAX IV Laboratory、スウェーデン)

スウェーデンの放射光施設、MAX IV 研究所 (MAX IV Laboratory) と SPring-8 (RIKEN 及び JASRI) 間にて、シンクロトロン放射光施設における研究協力を行う際の枠組みを確立し、共同研究等の推進を目的とする、シンクロトロン放射光に関する包括的な協定を2014年7月に新たに締結した。

4. APS/米国アルゴンヌ国立研究所 (APS/ANL、米国)

APS との放射光に関する研究協力に関する覚書が2015年3月で満了となり、さらに3年間の覚書を締結した。

5. 放射光科学アジアオセアニアフォーラム (AOFSRR)

2007年より毎年SPring-8で開催されている、アジア・オセアニア地域における放射光科学及び放射光利用研究に携わる国際的人材の育成を目的としたスクールが、「第8回放射光科学アジアオセアニアフォーラムケイロンスクール2014」として9月23日(火・祝)～10月2日(木)に開催された。今回は、AOFSRR加盟国及び準加盟国か

らの若手研究者・学生に加え、AOFSRRが参画する世界結晶年(IYCr2014)の活動の一環としてUNESCOが推薦するアフリカからの学生3名が招待され、14カ国から総勢76名が参加した。

講師にはアジア・オセアニア地区からだけでなく、欧米の著名な研究者も招待しており、2014年度は欧州放射光施設 (ESRF、フランス)、ドイツ電子シンクロトロン研究所 (DESY、ドイツ)、Advanced Light Source/ローレンス・バークレー国立研究所 (ALS/LBNL, USA) University of California, Berkeley (UC Berkeley、米国) 等の研究者が講義を行った。

6. その他

2012年以降定期的に開催されている、APS/米国アルゴンヌ国立研究所 (APS/ANL、米国)、欧州放射光施設 (ESRF、フランス)、SLAC国立加速器研究所 (SLAC、米国) などの研究者が集まり、回折限界蓄積リングの実現を目指した将来計画についての議論を行う“Diffraction Limited Storage Ring (DLSR) Workshop”の第4回目の会議が11月19日(水)～21日(金)にAPSで開催された。

研究調整部
鈴木 昌世